

寄合い(ワークショップ)の今後の方向性(案)

1 集落元気づくりの方向性(案)(瀧春山集落)

【第2段階】集落元気づくりの方向性(案)(第2回寄合い)

①瀧春山集落の集落元気づくりの方向性(案)

○参加者意向(住民・他出者・周辺集落)もふまえ集落資源・不安から、考えられる集落元気づくりのための寄合いの方向性を検討する。

《第1回寄合いのキーワード》

《不安》

- ・一次医療しかなく不安
- ・鳥獣被害が集落全体に及んでいる
- ・高齢化の進行が心配

《資源》

- ・今はやめた春祭り・秋祭り、ひえつき節
- ・20年前にスタートした無人販売所
- ・春の桜、秋の紅葉、滝、鍾乳洞

《思い出》

- ・地区全体の春祭り、氏神様の祭り、山神様の祭り
- ・昔は獣道を使って通学していた(片道2時間半)

《取組の方向性(案)》

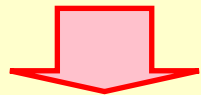
他出者・周辺集落と進める取組

獣害に強い集落資源の発掘

無人販売所を活かした特産品開発・販売

昔行っていたお祭りの復活

集落の地理的・地形的特徴を活用



資源活用・不安解消の方針

【資源の活用】

- ・今はやめた祭りの復活(伝統の踏襲だけでなく、実施可能な形に変化させて行うことも重要)
- ・無人販売所を今より活用させる方法の検討を行う。

【解消すべき不安】

- ・話し合いの場に集まることが困難であること、隣接する集落への他出者との連携方策の検討が必要。



20年続く無人販売所の活用



支援者との協働的取組が可能か？

2 集落元気づくりの方向性(案)(知之浦集落)

【第2段階】集落元気づくりの方向性(案)(第2回寄合い)

①知之浦集落の集落元気づくりの方向性(案)

○参加者意向(住民・他出者・周辺集落)もふまえ集落資源・不安から、考えられる集落元気づくりのための寄合いの方向性を検討する。

《第1回寄合いのキーワード》

《不安》

- ・高齢で集落維持管理作業が難しくなってきた
- ・道路の寸断より海が荒れる方が心配(移動は船に依存)
- ・耕作放棄地が増えるとハブが出てくる

《資源》

- ・集落中心にある松の大木
- ・全世帯船所有

《思い出》

- ・瀬戸内町の船こぎレースは毎年上位入賞していた(H18年まで)
- ・鰹一本釣りやキビナゴの地引網漁
- ・昔は通学に片道2時間かかっていた

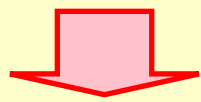
《取組の方向性(案)》

他出者・周辺集落と進める取組

船・海を活用した取組

集落資源の活用

昔行っていた「結バレ」の復活



資源活用・不安解消の方針

【資源の活用】

・集落全世帯が船を所有していることから海に関連する行事が出来ないか？

【解消すべき不安】

・集落維持活動(清掃活動等)が困難となっており、他出者や周辺集落と協働で取り組む行事等の機会を増やすことで、支援者との「結いバレ」が復活しないか



集落中心にある集会所を交流施設として活用



海と船を活用した取組の可能性

3 集落元気づくりの方向性(案)(阿多地集落)

【第2段階】集落元気づくりの方向性(案)(第2回寄合い)

①阿多地集落の集落元気づくりの方向性(案)

○参加者意向(住民・他出者・周辺集落)もふまえ集落資源・不安から、考えられる集落元気づくりのための寄合いの方向性を検討する。

《第1回寄合いのキーワード》

《不安》

- ・緊急時の電気が心配
- ・ラジオが入らず、TVは共同アンテナ
- ・土砂崩れで昔、道路が複数箇所寸断
- ・体調が悪くなった時、一人暮らしは不安

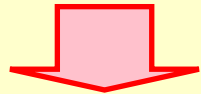
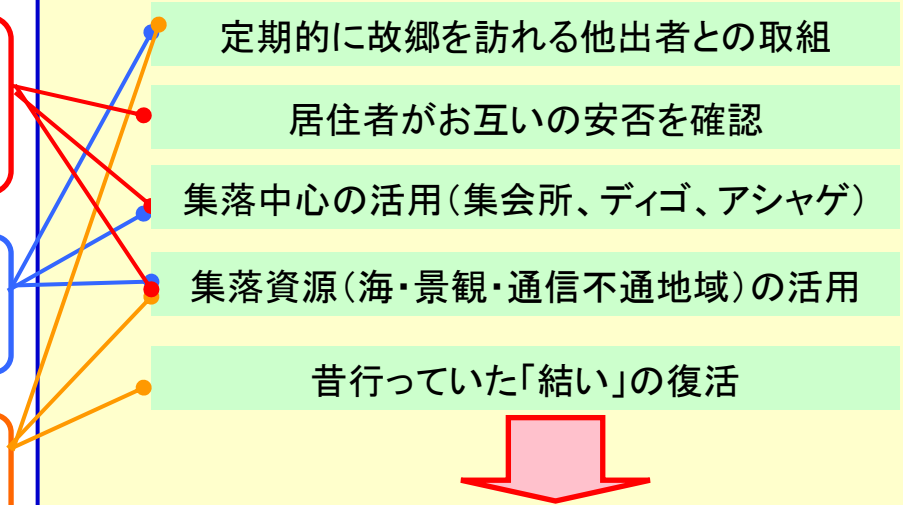
《資源》

- ・阿多地の海は魚貝類が豊富な一級地
- ・集落中心にあるディゴの大樹
- ・親戚を呼んでの豊年祭、ノロ神様を祀る祭事

《思い出》

- ・キビナゴの地引網漁(昭和35年迄)
- ・結い(サトウキビ・萱の葺き替え等)
- ・大干潮での集落全員参加の潮干狩

《取組の方向性(案)》



資源活用・不安解消の方針

【資源の活用】

- ・阿多地の海は瀬戸内で一番。海・海浜を活かした短期滞在プログラムの開発
- ・ラジオ、携帯など使用不可能。これらの環境を好んで訪れる外部から人は？

【解消すべき不安】

- ・集落の中心に交流の空間がある。集落の居住者が安心して憩える空間の創出



集落中心にあるアシャゲとディゴの大木(空間活用)



阿多地の海は加計呂麻でも有数の美しさを誇る